

江戸川区SDGs中学生議会

定例会 記録誌



SDGs未来都市
EDOGAWA

〔令和7年11月8日〕

もくじ

- 1 . . . はじめに
- 2 . . . 江戸川区SDGs中学生議会開催までの軌跡
- 3 . . . 令和7年度 江戸川区SDGs中学生議会実行委員会
- 4 . . . 江戸川区SDGs中学生議会 質問・答弁要旨
- 15 . . . 江戸川区SDGs中学生議会 宣言
- 16 . . . 各地区勉強会報告書
- 22 . . . アンケート集計表

はじめに

この度は、江戸川区SDGs中学生議会の取組みにご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

江戸川区は令和3年5月、国からSDGsの達成に向けた優れた取組を行う自治体として「SDGs未来都市」に選定され、「ともに生きるまち」を目指して、「誰一人取り残さない」ことを理念とし、SDGsを積極的に推進してまいりました。

江戸川区議会はSDGsの理念に沿ったまちづくり（SDGs未来都市）の推進を目的とする「江戸川区SDGs議員連盟」を発足し、令和7年9月25日から12月9日までの「SDGs Season in EDOGAWA」期間に合わせて、中学生にSDGsの視点を通じ、江戸川区の未来に向けて、自分達には何ができるかを考える機会として「江戸川区SDGs中学生議会」を企画しました。（令和3年・令和5年に引き続き3回目）

令和7年4月に江戸川区SDGs中学生議会実行委員会を設置し、外部団体、学校関係者と協力しながら準備を進め、6月からは、区内32の公立中学校及びグローバル・インディアン・インターナショナルスクールの代表者33名を「中学生議員」に任命し、実行委員会に所属する区議会議員とともに学習に取り組んでまいりました。

本誌は、約半年に渡る中学生議員の活動の記録と貴重なご意見を集約しました。学校関係者の皆さま、中学生の皆さま、保護者の皆さま、本記録誌および別添の会議録をご覧ください、少しでも自分事としてSDGsに興味を持っていたら幸いです。

江戸川区SDGs中学生議会実行委員会

江戸川区SDGs中学生議会開催までの軌跡

令和7年4月23日（水）江戸川区SDGs中学生議会実行委員会を設置

江戸川区SDGs中学生議会実行委員会を開催

4月から10月まで計3回開催

6月7日（土）「江戸川区SDGs中学生議会全体勉強会」を開催

各地区グループワークを開催

10月19日（日）江戸川区議会本会議場で「リハーサル」を実施

11月8日（土）「江戸川区SDGs中学生議会」を開催

< 当日次第 >

13：00 開会

江戸川区SDGs議員連盟会長 挨拶

江戸川区長 挨拶

13：08 日程第1 一般質問

第1地区

第4地区

14：14 休憩

14：25 再開

第2地区

第3地区

15：35 日程第2 宣言

江戸川区SDGs中学生議会宣言

江戸川区議会議長 挨拶

15：43 閉会

令和7年度 江戸川区SDGs中学生議会実行委員会

< 組織 >

江戸川区SDGs議員連盟 会 長 高木 秀隆 議員

江戸川区SDGs中学生議会実行委員

敬称略

	氏名	所属	備考
1	小 林 智 夫	区 議 会 議 員	実行委員長 (第4地区)
2	佐 野 朋 子	区 議 会 議 員	副実行委員長 (第3地区)
3	金 森 孝 裕	国連の友Asia-Pacific	(代表理事)
4	大 戸 天 童	国連の友Asia-Pacific	(事務局長)
5	高 島 まゆみ	国連の友Asia-Pacific	(事務局次長)
6	山 崎 孝 之	ジェイコム東京江戸川局	地域プロデューサー
7	勝 山 まゆみ	区 議 会 議 員	第1地区
8	牧 野 けんじ	区 議 会 議 員	第1地区
9	中 野 ヘンリ	区 議 会 議 員	第2地区
10	林 あきこ	区 議 会 議 員	第2地区
11	五十嵐 まさお	区 議 会 議 員	第2地区
12	佐々木 勇一	区 議 会 議 員	第3地区
13	小 林 あすか	区 議 会 議 員	第4地区
14	鈴 木 啓 之	松江第二中学校	校 長
15	荒 巻 淳	葛西中学校	校 長

その他区職員

令和 7 年度 江戸川区SDGs中学生議会
質問・答弁要旨（質問順）

【第一地区】

	質問内容	答弁要旨
1	<p>災害は予告なく起こるのに学校の避難訓練は予告して行うことに疑問を感じる。</p> <p>いざという時に備え実際に災害が起こった時の危機感を持たせるために、避難訓練は予告なしで実施することを検討しては。</p>	<p>事前に訓練の日時や想定を予告する場合と訓練自体を予告しない場合がある。</p> <p>各学校では授業中の発災や非常階段を使用できない時の発災等、様々な場面を想定した訓練を実施している。</p> <p>訓練目的を明確化し、いつ起こるか分からない災害に対して防災意識を高めていく。</p>
2	<p>かまどベンチ等、防災施設の使い方をまとめラミネート加工した資料を施設付近に貼付することや学校等で講演実施の検討を。</p>	<p>防災施設設置の際、町会等に利用方法の説明や継承等をお願いするほか各施設の使い方手順を二次元コードで表示している。</p> <p>今後、ラミネート加工した説明書を防災施設に備える等、周知に努める。各施設の利用方法はえどがわ区民ニュースで紹介されており情報収集に活用してほしい。</p>
3	<p>環境をよくする絵画コンクールについて受賞作品の掲示数が少ない。多くの人達の環境について考えるきっかけになるように、学校付近の掲示板等で掲示する等、受賞作品の効果的な活用を検討しては。</p>	<p>広報掲示板や区施設等約 4,000ヶ所に掲示し、展示会や区ホームページでも紹介している。一部地域では駅のデジタルサイネージでの展示も行われており、今後はSNSの活用等、時代に合わせた発信手段も取り入れて区民の環境意識の向上に役立てていく。</p>

	質問内容	答弁要旨
4	<p>自然に恵まれた本区の特徴を観光面やSDGs推進に活かすべき。河川を綺麗に保つための江戸川区歩行喫煙及びポイ捨ての防止等に関する条例等の広報等の検討を。</p> <p>条例制定以外の自然保護活動について。</p>	<p>条例について区ホームページや都営バス車内の放送等、様々な方法で周知に努めているが、今後は更にSNSでもPRしていきたい。河川周辺の自然保護のため区の日常的清掃のほか、ボランティアによるごみ拾いや環境をよくする運動での清掃等が行われている。</p> <p>豊かな環境を次世代に継承するため今後も自然保護に取り組んでいく。</p>
5	<p>犬や猫の保護活動を行っている方に対する補助制度の創設や命を預かる責任についての啓発として、YouTube等の広報を通じた発信を行っては。</p> <p>命に優しい江戸川区となるため、取り組みの検討を。</p>	<p>ボランティアの方と協力して地域猫活動や譲渡会を開催し、手術費用や譲渡費用を助成している。飼い主等へ動物の命を預かる責任を区ホームページ等で啓発しているが、今後はYouTube等でも伝わりやすい啓発に取り組み、命に優しい江戸川区を目指していく。</p>
6	<p>校則は、生徒が気持ちよく安全安心に過ごすための大切な決まりであると考えるが、各学校で校則が異なる理由や意図は。</p>	<p>各学校の伝統に違いがあるように校則にも違いがある。各学校では校則を分かりやすくし、すべての生徒が安心して学校生活を送れるよう、生徒達の実情等を鑑みて毎年校則を見直すこととしている。時代や社会の変化に合わせた校則の柔軟な見直しを支援していく。</p>

	質問内容	答弁要旨
7	<p>生徒から校則変更の要望を聞くが、校則の変更には時間がかかる。</p> <p>校則の変更にかかる期間を短くすることはできないのか。</p>	<p>校則は生徒、保護者、地域の方々の声を聞きながら成立していく。その際には多様な立場や感じ方を尊重しながら慎重に話し合うことが必要であるが、合理的な変更等、比較的早く対応できるものもある。</p> <p>生徒会本部役員が皆の声を聞き納得できる校則を作してほしい。</p>
8	<p>校則を決めるうえで、毎日を学校で過ごしている生徒の意見は大事なものとする。校則を生徒が提案できる環境を更に整えるべき。</p> <p>学校設備の面で不満な点についてアンケート等を行い、生徒のプライバシー侵害の有無等を確認して設備が使用しやすくなるように改善を。</p>	<p>各学校で生徒の声を大切にしたい校則改善を進めており、実際に委員会等での議論により見直しが行われ制服着用が柔軟化された例もある。</p> <p>設備のアンケート実施は各学校の判断になるが校長会で周知する。</p>

【第四地区】

	質問内容	答弁要旨
1	<p>小岩地区にはスポーツ施設が少なく、利用したい時には遠くの施設まで行かなければならず負担が大きい。</p> <p>コミュニティ活性化等に寄与するスポーツセンター等について施設や空き地のスペースを再利用し小岩地区に新しく整備を。</p>	<p>区が策定する文化・スポーツ基本構想では地域バランスを考えた施設配置について記載しているが、新施設の整備には用地確保やコストの課題があるため、既存施設の活用も含めて検討する。また将来に向けてプロチームや大規模イベント等に使用できる施設も検討している。</p> <p>今後も身近な場所でスポーツができる環境整備に取り組んでいく。</p>
2	<p>近隣にバスケットボールができる場所が少ないため、スポーツ施設における他競技のスペースをバスケットボール用へ変更することや、スポーツセンターのバスケットボール場の利用時間延長を。</p>	<p>バスケットボールの練習環境確保は必要と考えており、スポーツセンターの利用時間見直しは運営状況やニーズを確認し多くの人が利用できる方法を検討する。</p> <p>ご提案の内容を参考に、関係部署と連携しながら身近な場所でスポーツに親しめる環境づくりを検討する。</p>
3	<p>小岩地区に遊べるプール施設がない。</p> <p>学校プールを夏休み期間に開放することや空き地等を活用してプールを増設することで、幅広い年代が健康に繋がる運動や楽しみのために活用できると考えるが。</p>	<p>暑さで屋外プール利用が難しくなる中、通年利用可能な屋内温水プールの整備を検討している。公共施設再編・整備計画や学校プール整備方針に基づき、老朽化した施設の建て替えや学校改築時には近隣の学校と共同利用できる室内温水プールを設置し地域開放等も検討している。</p> <p>安全に身近な場所で気軽に水に親しめる環境づくりを進める。</p>

	質問内容	答弁要旨
4	<p>共育プラザについて入退館時のカード提示等に手間がかかる。</p> <p>退館時に名前を言わずに帰る利用者等の問題も発生しており、利用者の利便性と職員の効率を上げるためにもデジタルスキャンを導入しては。</p>	<p>共育プラザは第三の居場所として子どもから大人まで親しまれている。</p> <p>入館時のカード提示は入退館の記録だけでなく職員と利用者との大切な交流機会であるが、手間がかかるという面もあるためデジタルスキャン導入や登録カードの必要性も含めてより良い方法を検討する。</p>
5	<p>老朽化した共育プラザの改装時に子ども連れの保護者の負担軽減に資するエレベーターや障害者のためのスロープを設置しては。</p> <p>また利用者から飲食スペース充実等、より行きたくなる空間にするための提案もあることから普段利用している方々の意見を取り入れてほしい。</p>	<p>共育プラザは建物老朽化等の課題があるため改修時には多世代が利用できるユニバーサルデザイン施設への転換を図りスロープやエレベーター等の整備を進める。</p> <p>地域のあらゆる人が安心できる場所となるよう工事前には利用者等の意見を伺い施設整備に計画的に取り組む。</p>
6	<p>学校での部活動に関して、教員のやりがい搾取とも言える現状を変え、適切な部活動指導により子ども達を守るため部活動指導の負担軽減や特別な手当、休暇支給等の補助やルール作りが必要と考えるが。</p>	<p>教員の勤務時間が長い要因の一つとされる部活動について地域移行を進めており、スポーツ協会等と連携し地域人材等を活用した事例がある。生徒の気持ちに寄り添う指導に取り組み、教員の負担軽減と生徒が意欲的に活動できる部活動を目指し、仕組みの整理等に努める。</p>

	質問内容	答弁要旨
7	<p>授業の大半が雑談になる等、一部の教員の授業や部活動への取り組み方に対して生徒から不満を聞く。</p> <p>各学校の教員にアンケートを実施する等、教育委員会が学校の状況の把握と調査を。</p>	<p>教員の言動で生徒の意欲が損なわれることはあってはならない。生徒からの率直な意見は教育環境改善に貴重であり、校長会等を通じて各学校の授業や部活動の指導徹底を確認していく。</p> <p>教員の資質・能力向上は教育の質の向上に欠かせないことから、授業力や人間性を高める研修の充実等に積極的に取り組み、より良い学校づくりに努める。</p>

【第二地区】

	質問内容	答弁要旨
1	<p>自転車マナーと安全な通行環境について。</p> <p>自転車利用のために整備が進められているブルーレーンについて、カラーコーンを設置する等の対策で車道と区別化しては。区民・警察・区との啓発活動の連携強化で今より安全な自転車走行環境の実現を。</p> <p>自転車のルールやマナーをより知ってもらうため、駅等の公共の場に二次元コードで区のサイトを確認できるポスターを設置しては。</p>	<p>区と警察署ではカラーコーンは安全を確保する反面避けようとして車に追突される等危険があると考えている。今後も自転車のマナー啓発を続け皆さんとともに安全安心な自転車走行環境をつくりたい。</p> <p>区の交通安全情報にアクセスできる二次元コードをより目に付くよう改善して掲載し、設置場所も更に工夫したい。</p> <p>継続的な啓発が重要なため、機会を捉えて自転車マナーの向上に繋がる情報を発信する。</p>
2	<p>新校舎建設の完成が遅れているため、仮校舎の耐久性の問題や、体育の授業等学校生活に影響が出ている。</p> <p>新校舎建設が予定通りに進まない場合と仮校舎での生活が長引く場合どのような対策を行うのか。</p>	<p>仮校舎の安全性に問題はないが、必要に応じ修繕等を検討する。</p> <p>今後は建設業界の綿密な調査や適切な期間等の設定で予定通りに工事が進むよう取り組む。対応できる希望は真摯に受け止め検討したい。</p>
3	<p>教員は部活動指導や保護者対応等、授業以外の負担が大きい。校内清掃の外部委託で生徒の負担軽減を。</p> <p>またテスト採点等を外注することで教員の業務量が抑えられ本当に必要な業務に注力できるのでは。</p>	<p>校内清掃は生徒が働くことの大切さを学ぶ等貴重な機会と捉えている。</p> <p>テストの採点ではデジタル採点ソフトの導入等により教員の負担軽減を図っており、今後も学校における働き方改革を進めていく。</p>

	質問内容	答弁要旨
4	<p>小中連携について、小学生と中学生の交流が少なく関係が浅いと感じる。</p> <p>「小中の壁」を壊す取り組みとして小中連携校に限らず、日常的に小学生と中学生の一人ひとりが交流できる機会を増やしては。</p>	<p>江戸川区小中連携教育方針のもと中学生による小学生への読み聞かせ活動や教員同士の交流等、先進的で効果的な取り組みや好事例を区内の小中学校に広く紹介する等、小中連携の取り組みを進めていく。</p>
5	<p>外国人との交流や異文化共生について。</p> <p>多くの区民にとって外国人との交流や異文化共生を肌で感じる場面は少ないのではないかと考える。子どもから大人まで全ての人が参加できる国際交流の場をつくっては。</p> <p>学校で外国人生徒に壁を感じる場面や、ホームステイ等の取り組みに参加する人は少なく、学校内の交流には課題があると考える。小中学校で外国人との交流や異文化について学ぶ学習の時間をつくっては。</p> <p>年齢や国籍に関係なく誰もが参加できる多文化交流イベントを増やしては。</p> <p>また、やさしい日本語や英語での案内表示、相談窓口に通訳を配置する等、外国人にとって暮らしやすい環境づくりを。</p>	<p>多文化共生センターをタワーホール船堀に開設し日本語交流会等を開催している。交流の場を増やし、多国籍料理教室等切り口を変えながら多くの方に参加してもらえるよう国際交流の場を設けたい。</p> <p>交流学习を行う学校の取り組みを紹介する等、多くの児童・生徒が多様な文化に触れ、共生社会の担い手を育てる教育活動を広めたい。</p> <p>より多くの国際交流イベントの開催に向けて取り組みたい。</p> <p>案内板の多言語化や、やさしい日本語研修の受講、外国人対応が多い窓口には多言語通訳サービスを導入する等対応の向上に努めている。</p>
6	<p>金魚をはじめ本区の伝統ある文化をどのように守り広めていくのかが将来の本区の魅力を考えるうえで大切だと考える。</p> <p>商店街や地域イベントとの連携によって金魚の魅力を発信する場を増やしては。</p>	<p>区施設等に金魚の水槽を常設展示し、泳ぐ金魚を目にする機会を増やす取り組みを始めている。</p> <p>商店街をはじめ様々な機会に金魚のPRを企画し「江戸川区といえば金魚」のイメージ定着に取り組むたい。</p>

【第三地区】

	質問内容	答弁要旨
1	<p>若年層と比べると、高年齢層にはＳＤＧｓがあまり浸透していないように感じる。</p> <p>ＳＤＧｓに繋がる資源回収の取り組みを、自分の学校だけでなく区立の小中学校や施設等で実施することや、幅広い層へのＳＤＧｓを周知することについて区長と教育長の考えを。</p>	<p>区では古紙等の資源回収に加えて子ども服の譲渡イベント等を行っており、小学校では上履き等の回収、中学校ではＰＴＡ主体で制服等の回収を行っている。</p> <p>ＳＤＧｓの周知は関連事業を集中的に実施する期間の設定やＳＤＧｓえどがわ１０の行動を掲げる等、様々な機会を通じて幅広い層が取り組めるように行っている。学校での啓発ポスター掲示を含めて様々な媒体を通じたＰＲにより、機運醸成に努める。</p>
2	<p>食品ロス削減のため過去に区が実施していた江戸川区食品ロス削減マッチングサービス「タベくるん」のような取り組みやＳＮＳの活用等の取り組みを。</p> <p>今後、食品ロス削減対策をどのように進めるのか。</p>	<p>江戸川区食品ロス削減推進計画を策定して削減目標を掲げている。削減に向けてえどがわ食べきり推進運動を実施し、ＳＮＳ等の様々な媒体で周知しているほか、食品関連事業者等と江戸川区食品ロス削減推進会議を開催して議論もしている。</p> <p>区民・事業者と連携した取り組みを一層進めて食品ロス削減を目指していく。</p>
3	<p>ごみのポイ捨てに関して外国人でも分かりやすいポスター掲示やポイ捨て防止の啓発活動、清掃活動の強化、ごみ箱の増設等を進めるべきと考える。</p> <p>どのように対策を進めていくのか区長の所見を。</p>	<p>ポイ捨て対策では図や英語表示入りの看板等を設置しており、やさしい日本語を活用する等、誰にも伝わる工夫をしていく。以前は公共のごみ箱を設置していたが家庭ごみで溢れたため撤去している。現在はマナー向上の啓発や清掃用具と回収ごみを収納する「ちょこ美化ボックス」設置等に取り組んでいる。今後も効果的な対策を検討する。</p>

	質問内容	答弁要旨
4	<p>本区が安心して暮らせるまちとなるためには年齢層に合った施設や様々な工夫が大切である。年齢層に合った施設を整え、そこで多世代が自然に集まれるような工夫を行うことで多世代交流が生まれると考える。</p> <p>年齢層に合った施設と多世代交流促進について区長の所見を。</p>	<p>区では乳幼児と保護者が一緒に遊べる子育てひろばを、共育プラザや健康サポートセンターといった地域の方が利用する公共施設内に設置しているところもあり、多世代交流を促すきっかけになっている。</p> <p>建て替え時期を迎える公共施設の複合化が必要と考えており、今後も「ともに生きるまち」を目指してまちづくりを進める。</p>
5	<p>スーパー堤防の建設に伴い公園の緑地面積が減ってしまったが、スーパー堤防完成後の緑はどのようなのか。</p> <p>また緑を増やすためにも、住宅街に点在する空き地を利用して木を育てる等、住宅と自然がバランス良く配置されたまちになるようにと考えるが区長の所見を。</p>	<p>工事中のため公園の緑地面積は一時的に減っているが、まちづくりとともにこれまで以上にみどり豊かな地域に生まれ変わる。</p> <p>区は「ゆたかな心、地にみどり」を合言葉に緑化運動を推進し、令和４年に樹木数が区民一人あたり１０本を達成した。</p> <p>公園については公園用地に利用できる土地を探し、区民が身近に利用できる公園の整備を進める。</p>

	質問内容	答弁要旨
6	<p>外国人や障害者への差別や偏見をなくすため、アプリやオンラインゲームを活用して気軽に話ができる機会を増やす活動を通じて、理解や支援、協働を促すことについて区の考えを。</p>	<p>ともに生きるまちを目指す条例に基づき多文化共生や障害者の理解促進に関する条例を制定した。</p> <p>障害者への理解啓発では区ホームページに条例への思いを掲載し区内障害者施設で誰でも参加できるおまつりや障害者と体験活動を行うイベントを実施している。</p> <p>外国人との交流では多文化共生センターで日本語交流会等を開催した。</p> <p>障害者や外国人も分け隔てなく同じイベントで楽しめることが理想であり、アプリやゲームの活用を含め交流を増やせるよう今後も取り組む。</p>

令和 7 年度 江戸川区SDGs中学生議会 宣言

【第一地区】

江戸川区で暮らしている全ての人が安心安全に過ごせるように、また、江戸川区SDGs中学生議会で学んだことを江戸川区全体に知ってもらえるように、一人ひとりが学校や課外などで、SDGsのことを伝え、今後区民一人ひとりがSDGsのことをさらに重視する区を目指して努力していきます。

【第二地区】

SDGsが見据える、区民一人ひとりが気持ちよく生活できる江戸川区の未来のために、私たち中学生には何ができるのか。今回のSDGs中学生議会で学んだことをどう生かすべきかを意識しながら取り組んでいきます。

【第三地区】

私たちが住んでいる江戸川区が今よりもより良い街、住み続けられる街になるように、SDGsを意識しながら、自然の豊かさを身近に感じられる綺麗なまちにしていきます。そして、未来ある若者の私たちが、差別や偏見をなくし、幅広い世代と協力して問題を解決していけるよう、力を合わせて“ともに生きる”江戸川区にします。

【第四地区】

江戸川区を誰一人取り残さない、取り残されない、そして、人と人々が支え合い、ともに歩んでいける社会にするために、私たちは希望あふれる未来に向かって行動し続けます。

令和 7 年度 江戸川区SDGs中学生議会 各地区勉強会 報告書

第 1 地区 担当：勝山まゆみ議員、牧野けんじ議員

日 程	形 式	勉強会内容
第1回 7/13（日） 10：00～ 江戸川区役所 委員会室	集 合	【協議事項】 以下の課題について意見交換し、質問のテーマをまとめ。 1.日常生活、学校生活で興味・関心があること、将来のために大切にしていること。 2.日常生活、学校生活で困っていること、疑問に感じていること、もっと良くしたいこと。 3.自分が住んでいる地域や地球規模など様々な視点で、将来を見据えてどのような江戸川区にしたいのか。
第2回 7/20（日） 10：00～ 江戸川区役所 委員会室	集 合	【協議事項】 以下の質問テーマごとにチーム分け。 自然に優しく 災害に強く 校則の改善 質問の項目について、案を出し合う。
第3回 8/10（日） 17：00～ 江戸川区役所 委員会室	ハイブリッド	【協議事項】 【小グループ】自然チーム 質問内容の背景の交流と具体化。
第4回 8/15（金） 10：00～	オンライン	【協議事項】 【小グループ】災害チーム 質問内容の背景の交流と具体化。

日 程	形 式	勉強会内容
第5回8/16（土） 13：00～ 江戸川区役所 会議室	集 合	【協議事項】 【小グループ】校則チーム 意見をまとめて、質問項目を3つにしぼる。
第6回8/31（日） 10：00～ 江戸川区役所 委員会室	ハ イ ブ リ ッ ド	【協議事項】 1.各チームの質問項目について報告。 2.質問の作り方等の確認。
第7回10/1（水） 10：00～都民の日 江戸川区役所 会議室	ハ イ ブ リ ッ ド	【協議事項】 1.各チームの進捗状況の報告と交流。 2.当日の役割の担当決め。

第2地区担当:中野ヘンリ議員、林あきこ議員、五十嵐まさお議員

日 程	形 式	勉強会内容
第1回 7/6(日) 10:00~ 葛西区民館	集 合	【協議事項】 1.自己紹介 2.それぞれの中学生議員が考える、江戸川区の課題を洗い出し
第2回 8/5(火) 10:00~ 葛西区民館	集 合	【協議事項】 1.具体的な質問の作成方法について、議員からレクチャー 2.前回洗い出した課題についての精査
第3回 9/7(日) 17:30~ 葛西区民館	集 合	【協議事項】 1.質問内容を仕分けし、質問内容を4つに絞る 2.グループを4つに分け各自がどの質問を行うかを決定
第4回 10/5(日) 17:30~ 葛西区民館	集 合	【協議事項】 1.質問通告書を作成 2.グループごとに質問内容を話し合い

第3地区 担当：佐々木勇一議員、佐野朋子議員

日 程	形 式	勉強会内容
第1回6/7（土） 11：05～11：30 江戸川区役所 委員会室	集 合	【協議事項】 1.自己紹介 2.リーダー・副リーダー選出 3.第3地区として用意した実施要項により今後の予定等を説明 4.第2回GWに向けて事前課題の確認 （Teamsに7/20までにアップ） 【決定事項】 1.リーダー・副リーダーの決定 2.今後の予定等や課題の提出を決定
第2回 8/3（日） 10：00～11：00 東部フレンド ホール	集 合	【協議事項】 1.7/20まで各自提出の事前課題による意見交換 （欠席者は事前に意見をTeamsにアップ） 2.次回のGWに向けた第3地区独自の課題について （Teamsに8/17までにアップ） 3.次回のGWの予定や日程の確認 【決定事項】 1.次回のGWに向けた第3地区独自の課題を確認 2.次回のGWの予定や日程の決定 3.欠席者に本日配付資料の送付

日 程	形 式	勉強会内容
<p>第3回8/25（月） 17：00～18：30</p> <p>東部フレンド ホール</p>	<p>集 合</p>	<p>【協議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.議長選出（今回は第3地区より選出） 2.第2回グループワークシートの確認 3.各自の質問について 4.第3地区としてのSDGs中学生宣言の検討 5.今後の予定について <p>【決定事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.議長の決定 2.議長は質問はせず宣言を担当する 3.次回までに各自の質問案を考える （Teamsに9/5までにアップ：以前配付の資料を参考に、自己紹介以外で350文字前後で） 4.次回までに皆の意見をまとめ宣言を考える 5.次回のGWの日程の決定 6.次回に欠席予定者は質問を事前にTeamsにアップする
<p>第4回9/10（水） 20：00～21：00</p>	<p>オン ライ ン</p>	<p>【協議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.各自の質問案に対する意見交換 2.第3地区のSDGs中学生宣言案への意見交換 （オンラインのため、1.2については事前に各自の質問をTeamsのフォルダに準備し、参考にしながら意見交換をした） 3.次回以降の予定の確認 <p>【決定事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.質問や宣言に対する意見を踏まえ各自ブラッシュアップし、Teamsに9/20（土）までに質問原稿をアップ 2.修正した質問原稿や宣言を10/2（木）までに確認し、各自調整した上で最終原稿とする【10/11（土）までに確認・修正】 3.リハーサル（終了後に宣言文の決定）と本番の予定を確認

第4地区 担当 小林智夫議員、小林あすか議員

日 程	形 式	勉強会内容
第1回 7/6(日) 14:00～16:00 小岩区民館	集 合	【協議事項】 1.プリント内容を共有 2.住み良い江戸川区を考える 3.各自の街の課題を出す 次回までに自分でまとめる
第2回 8/3(日) 14:00～16:00 小岩図書館	集 合	【協議事項】 1.テーマをしぼる 2.質問の内容をより具体的に考える 次回までにどのテーマを希望するかを決める
第3回8/24(日) 15:00～17:00 江戸川区役所	集 合	【協議事項】 1.テーマを確定、担当を決める 2.質問内容を具体的に考える 3.宣言者を決める 宣言の内容について次回までに考えておく
第4回 9/7(日) 14:00～16:00 小岩図書館	集 合	【協議事項】 1.各テーマごとに作業、質問内容を決める 2.宣言を考え決める 3.質問順を決める 本番までに練習しておくこと

江戸川区SDGs中学生議会 参加者アンケート集計

基本情報

学年： 2年生（22人） 3年生（11人）
性別： 男性（11人） 女性（22人）

【参加前後の変化について】

1. 中学生議会に参加する前の地域の問題への関心度は？

とても関心があった （36％）

少し関心があった。 （41％）

あまり関心がなかった（23％）

全く関心がなかった （0％）

2. 参加後の地域の問題への関心度は？

とても関心があった （82％）

少し関心があった。 （18％）

あまり関心がなかった（0％）

全く関心がなかった （0％）

3. 議会の役割について、参加前後でどのように理解が変わりましたか？

とてもよく理解できるようになった （82％）

少し理解できるようになった （18％）

あまり変わらない。 （0％）

よくわからない （0％）

【活動内容の評価】

4. 中学生議会の各活動について、4段階で評価してください

活動内容	とても良い	良い	あまり良くない	良くない
区議会議員との意見交換	86%	14%	0%	0%
全体勉強会の内容	68%	32%	0%	0%
議場での体験	95%	5%	0%	0%
グループ討論	77%	23%	0%	0%
質問・提案した内容	68%	32%	0%	0%

5. 最も印象に残った活動は何ですか？

区議会議員との意見交換（18%） 議場での体験（50%）
 全体勉強会の内容（4%） グループ討論（14%）
 質問・提案発表（14%） その他（0%）

6. その理由を教えてください（抜粋）

区議会議員との意見交換

- ・ 区議会の人と実際に会って意見交換できる機会がなかったため。
- ・ 私自身の考えや意見を、実際に自分自身の言葉で伝えられたことに、喜びを覚えています。このような経験をするのは、当たり前のことではないため、印象に残っています。

議場での体験

- ・ 議場で、本番までに区のことについて考えたことを発表し、区長との意見交換をした時のことが今までの学びの中で1番勉強になったし、自分の思いや、考え等を見直すことができたからです。
- ・ 区議会という特定の機会しかあまり立ち入れないようなところで発表した経験が、またどこかの機会で活用できると感じたため。

- ・ 普通なら入ることのできない議場や議長席に座らせていただくなど、貴重な体験をすることができたから。議会という場で人前で話すという経験で自分自身も成長することができたと感じ、自信がついたから。
- ・ 普段入ることのできない議場で、区長の方や区議会議員の皆さんなどに囲まれて自分が伝えたいことを話せる、ということはとても良い経験になりました。また、応答で話してくださった内容もとても丁寧で真摯だったと感じました。

全体勉強会の内容

- ・ 全員と協力して一つのことに取り組むのが素晴らしいと思ったから。

グループ討論

- ・ 各学校代表者の意見はとてもわかりやすく今後の区議会等でも討論できる内容であった。
- ・ 仲間と共に、何度も話し合いを重ねたことで、自分が何を質問したいのかなどが明確になったと思うし、一人では出てこないような地域の課題なども知ることができたから。

質問・提案発表

- ・ 中学校教諭についての話がとても印象深かった。
- ・ 様々な意見を知ることが出来たから。

【学びと気づき】

7. 中学生議会に参加して、新しく学んだことや気づいたことはありますか？（抜粋）

- ・ 同じ中学生でも、人によってどんなことを提案するか、意見は全く違うということがわかったので、さまざまな意見を聞いた上で話し合って決めることが大切だと思いました。
- ・ 様々な意見を持っている中学生と意見を交流することを通して、いろいろな考えを持つことができた。それだけでなく、現在江戸川区が抱えている問題やこれから私たちができることについて考えることができた。これから少しでも江戸川区に貢献できるようにしたいと思った。
- ・ 地域のことにはあまり関心はなかったけれど、周りに目を向けてもっとここをこうしたらと普段は不便に思っていなくても改めて考えてみるとたくさんあるのだと気づきました。
- ・ SDGsについて中学生それぞれが深く関心を持ち、それぞれの考えがあるんだとしました。また、江戸川区についての問題に改善意識があったり、過ごしやすくしたいという気持ちを全員持っているのだと気づきました。

- ・ 他校との交流は初めてなので、たくさんの収穫がありました。参加前は、自分の学校のみを知っている状態での考えですが、参加後は、客観的に自分の学校を、見るできるようになりました。その他にも、私の話を聞いてくださった傍聴席の方々、協力してくださった区議会議員の皆様、答弁してくださった区長、一緒に考えてくれたメンバー、このような機会をくれた学校の先生方、たくさんの方々の支えや協力があって、私の考えを発表することができました。
- ・ 自分が住んでいるこの江戸川区のことをわかったつもりでいて、こんなにも多くの取り組みを行っていたことを知りませんでした。それを、今回の中学生議会を通し気づくことができました。もっと他の生徒にも江戸川区について知ってもらいたいと強く思います。
- ・ 江戸川区がどのような政策をしているか、どんな問題を抱えているかなどを学ぶことができました。そして江戸川区をよりよくするために改善の方法を考えることで私が江戸川区に貢献できたという達成感を味わい、とても嬉しかったです。
- ・ 身の回りの中学生も疑問に思っていることがあると知れた。今までは議会とはどのような場であるか詳しく知らなかったが、実際に体験してみて理解できた。
- ・ 自分とは離れた地区の質問、提案を聞いてみて、同じ江戸川区でも場所によって違う課題や、取り組みがあることを知った。また、私の質問内容は自分自身にしかできない課題であったが、江戸川区の中で自分にしか主張できないことという責任感を改めて感じた。
- ・ 中学生議会に参加して、他校の中学生や議員の皆さんと話し合いを重ねたことで、私の中の価値観が大きく変わりました。持っていなかった視点や考え方、意見にたくさん触れ合えて私自身の気づきや成長につながりました。

8. 自分の意見を人前で発表することについて、どう感じましたか？

とても良い経験だった（91％）

あまり良い経験ではなかった（0％）

良い経験だった（9％）

良い経験ではなかった（0％）

今後への影響

9. 今回の経験は、将来の進路や職業選択に影響を与えますか？

大いに影響する（50％） 少し影響する（45％）
あまり影響しない（5％） 全く影響しない（0％）

10. 今後、地域や社会の活動に参加してみたいと思いますか？

積極的に参加したい（50％） 機会があれば参加したい（50％）
あまり参加したくない（0％） 参加したくない（0％）

11. 18歳になったら選挙に行きたいと思いますか？

必ず行きたい（77％） 行くと思う（14％） わからない（9％）
行かないと思う（0％）

改善提案

12. 中学生議会をより良くするための提案があれば教えてください（抜粋）

- ・ グループで話す日をもう少し増やして細かいところまで考えてみるのもいいと思います。
- ・ 二年に一度ではなく毎年行う。
- ・ もっと話しやすい空間を作る。
- ・ 少し討論味があったほうがいい。
- ・ 他のグループが別のグループに意見を伝えられるようにするのはいかがですか？
- ・ 他の地域の人と交流できる場面があればいいなと感じました。地域によってテーマにしていることは異なるので、様々な意見を知り、より深い物にできると思いました。
- ・ 実際に学校などでアンケートを取ったり、区の施設などに行ってインタビューをしたりなどの調査を行い、データを集めることでより説得力のある主張にできるようにする。
- ・ 江戸川区のSDGsの取り組みについて学ぶ全体勉強会をもう少し行い、江戸川区のことについてもっと詳しく学びたかったと思いました。

- ・ 中学生議会には各校の生徒会役員が大半を占めていたように感じます。もちろん学校の代表として話し合いに参加した方もいると思うのですが、生徒会役員ではなくてもいろんな中学生が参加できるようにしたら良いと思います。
- ・ ポケットWi-Fiがあったほうがやりやすいと思う。
- ・ 紙の資料とかを持っていけるようにすればいいと思います。

13. 他の中学生にもこの体験を勧めたいと思いますか？

強く勧めたい（59％） 勧めたい（41％） あまり勧めない（0％）
勧めない（0％）

14. その理由を教えてください（抜粋）

- ・ 自分自身の成長、そして自信をつけるのに繋がる。
- ・ 今回の経験を通して、生活する上で意識することや発表することの考え方について考え方が変わったから。
- ・ 人の前に立って自分の意見をいう体験を経験しておいた方が良いと思うから。（将来に生かせると思います）
- ・ 中学生議員を通して江戸川区の取り組みや、これから生活をするうえで活かしていきたいことをたくさん知れたので、いろんな江戸川区の中学生のみなさんにもぜひ体験して欲しいと思ったからです。
- ・ この取り組みによって江戸川区はさらに住みやすい街になったり人々の行動が変わるのではと思った。
- ・ 中学生議会を行うことで将来政治に興味が湧くようになり立候補もする人ができる可能性があるのではないかと考えたから。
- ・ この中学生議会は区について学び、真剣に「自分の暮らす区をどのようにすればより良くなるのか」という疑問を考えることで、未来へと向き合うとても貴重な経験となったからです。
- ・ 私自身、恥ずかしいですが、参加前は政治に興味がありませんでした。ですが、このように、感じている中学生は多いのではないのでしょうか？この経験を通して考え方が180度変わりました。このような機会を、未来を担っていく、たくさんの中学生在が経験することで、社会が変わっていくと考えたからです。
- ・ 少し政治に興味があるな、などちょっとした好奇心が大きな知識となって帰ってくる中学生SDGs議会は、とても良い体験になると思ったからです。また、グループワークでの区議会議員の皆さんとの意見交換はとても充実した内容で、とても勉強になるからです。議員の方から直接聞いた区議会議員の仕事は、本を読んだり教科書を見たりすることだけでは

わからないこともたくさんあったので、多くの中学生にとって貴重な経験になると思ったからです。

- ・ 向き不向きがあると思うし、楽しいと思ってできる人がやった方が価値もあるし、地域のためにもいいと思うから相手を考えて勧めるといいと思います。

全体的な満足度

15. 中学生議会全体への満足度を4段階で評価してください

とても満足（82％） 満足（18％） やや不満（0％） 不満（0％）

16. 最後に、今回の中学生議会に参加した感想を自由にお書きください（抜粋）

- ・ とても緊張したし、上手くいかないところもあったけれど、知らない場所や知らないこと、知らない考えに触れられた、貴重ないい経験だった。
- ・ 何度か集まることは大変だったが、なかなかない経験を通していろいろな考え方をすることができ、良い経験だと思った。ただ自分の経験だけにとどめず、他の人にも広めていきたい。
- ・ やる前は正直、お偉い方々の前で話すのはあまり気が進みませんでした。グループでの活動などを通していく中で自分たちの考えを議会で伝えたいと思っていきました。本番も無事終わらせることができました。本当に貴重な体験をさせてくださりありがとうございました。
- ・ この体験がなかったら絶対に知ることができなかったような、江戸川区の取り組み、議会の仕組み。そして他の中学校の生徒や議員の方々との交流。この経験は私にとって貴重でかけがえのない思い出となりました。これをこれからの進路選択に活かしていきたいと思います。今回この中学生議会に参加することができ、本当に良かったと心から感じます。
- ・ 写真でしか見たことがなかった議場に足を運び、自分の意見をたくさんの方の前で話すことができた経験は、私自身の成長や自信に大きく関係しました。6ヶ月という長いようで短い期間の中で、たくさんの方の考えに触れ合えて良かったです。また機会があれば、このような形で江戸川区に関わりたいと思います。
- ・ 今までの経験などを活かして、このような貴重な体験をさせていただけてとても嬉しかったし、幸せでした。今回の議会を通して、たくさんの

お友達もできて、楽しかったです。

- ・ 普段関われない人や議員との交流で様々な体験ができた、みんなの意見がしっかりとできていてとても良かった。
- ・ 同じような考えを持っている人と出会えたのでとても良かったし、他の学校の話や地域の話を知ることができて良かったです。議員の方たちも優しくて、思っていたより身近に議会のことなどを感じることができました。楽しかったのでまた機会があったらやりたいと思いました。
- ・ この中学生議会で、たくさんの収穫ができたこと、本当に感謝しています。特に、担当してくださった議員、他のメンバー、とは半年間一緒に活動してきました。全員集まることができないなどの、難しさは合ったものの、色々な課題に対して、一緒に考える時間はとても良かったです。半年間も一緒に活動していくと、とても仲良くなり、今でも連絡を取り合うほどです。このような他校との繋がりができたこと、嬉しく思います。本番だけでなく、この半年間、本当に貴重な経験をさせていただきました。この経験を絶対に未来に繋げていきます。ありがとうございました。
- ・ 今回の中学生議会、自分ごとに捉え取り組んだことで、より江戸川区の課題が身近になり、明確になったと感じます。自転車問題やゴミ問題など、自分たちで解決していかなければならないものに関しては、区民一人一人が積極的に課題解決に取り組んでほしいです。そのため、今回私たちが中学生議会から学んだことを、一人でも多くの方が課題を少しでも意識して、自分ごとにしてもらえよう、周囲の人に周知していきたいです。
- ・ 江戸川区を知るいい機会になりました。宣言にもあったように、SDGsのことを意識しながら過ごしていきたいと思います。
- ・ SDGsについてかんがえるととてもいい機会になりました。この経験を未来で活かしていきたいです。
- ・ 中学生議会に参加し、自分の感じていることを発表する良い経験になりました。同じ中学生と意見を話し、まちづくりに関わることを考えることができました。今後も江戸川区をよりよくするために自分で出来ることを考え学んだことを学校生活にも活かしていけるようにしていきたいと感じました。
- ・ まずは貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。今まで区議会というものはあまり身近ではなく、選挙のポスターでたまに見る程度の印象でした。しかし、議員や区役所の職員の方々と話したり議会で発言や提案を行わせていただいたことでより議会というものを身近に感じ、政治や議会というものへの興味や理解を深めることができました。私も将来は政治に関わる仕事をしてみたいです。また、中学3年

生になってから新たな仲間ができるとは思っていませんでした。中学生議会がなければ、半年間一緒に準備をしてきたあのメンバーと出会うことはなかったと思います。改めて、本当にありがとうございました。

- ・ 中学生議員に実際に行って、とても緊張したけどグループのみんなで協力して江戸川区が今より更に良くなる意見を江戸川区長さんや議員さんに伝えることができました。
- ・ 区長さんに直接質問をできたり、本当の議員さんと他校の皆さんと江戸川区について意見を交わせる、貴重な機会でした。また似たような機会があった時には、この経験を生かしていきたいと思います。
- ・ グループのメンバーでの話し合いは、楽しく、そして学びになることでした。今回、協力してくださった区議会議員の方に感謝の意を表します。
- ・ グループでの話し合いや議場での体験によって江戸川区について理解が深まったなと感じました。なかなかできる経験ではないと思うので参加して良かったと思います。